

厚生労働省 保健局（2025 年 12 月 12 日公表）

「協会けんぽにおける予防・健康づくりの取組等」についての参考資料が公表されました。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001610192.pdf>

全国健康保険協会（協会けんぽ）は、主に中小企業で勤務する労働者及びその家族の予防・健康づくりへの積極的な取組を一層強化する観点から、令和 8 年度からの健診体系の大幅な見直しを行いました。それに関する参考資料が、厚生労働省保健局より公表されました。

見直しの概要（令和8年度～）

- ◆人間ドックに対する補助の実施
 - ・35歳以上の被保険者を対象に**一定の項目を網羅した人間ドック**に対する定額補助（25,000円）を実施する。
 - ・実施機関は、日本人間ドック・予防医療学会／日本総合健診医学会等が実施する**第三者認証を取得しているほか、特定保健指導の実施体制**（健診当日の初回面接実施）を有すること等を条件とする。
- ◆若年層を対象とした健診の実施（胃・大腸がん検診を除く）
 - ・**20歳、25歳、30歳**の被保険者も生活習慣病予防健診の対象とする。
- ◆生活習慣病予防健診の項目等の見直し
 - ・40歳以上の偶数年齢の女性を対象に**骨粗鬆症検診**を実施する。
- ◆節目健診の導入
 - ・**一般健診と付加健診の項目を統合した節目健診**を、40歳から5歳刻みで実施する。

引用：地域医療振興協会「健診センター長会（2025 年 12 月 10 日開催）」資料より

詳細については、下記をご参照ください。

健診体系の見直しについて_全国健康保険協会

[https://www.kyoukaikenpo.or.jp/file/siryou4_kennsinntaikeinominasinituite\(R7.3\).pdf](https://www.kyoukaikenpo.or.jp/file/siryou4_kennsinntaikeinominasinituite(R7.3).pdf)